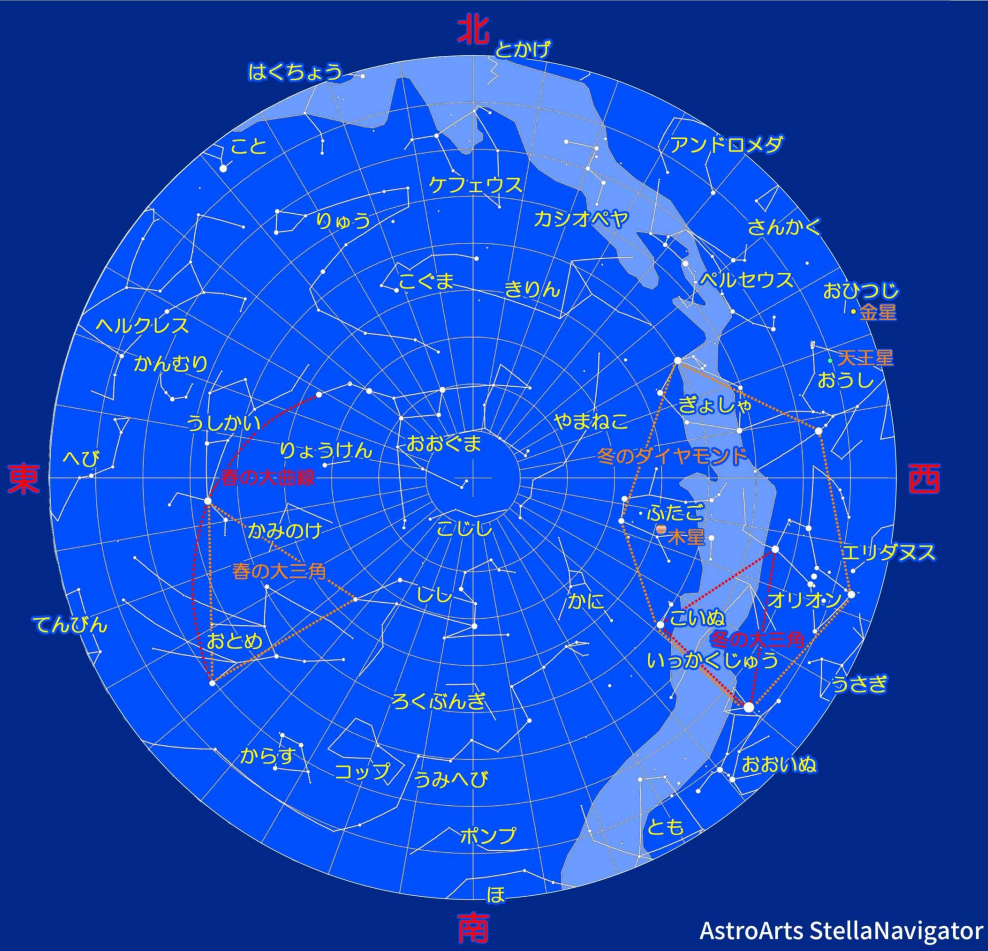




銀河の森天文台 2026年4月みどころ天体情報

4月の星空(15日 20:00頃)



AstroArts StellaNavigator

NGC3242(惑星状星雲)

全天で最も大きな星座である、うみへび座の領域にある惑星状星雲です。天王星を発見したウィリアム・ハーシェルにより、見つけられました。木星と似たような大きさに見えることなどから、「木星状星雲」の愛称で親しまれています。

また、その名の由来となった木星は、現在ふたご座の方角におり、115cm大型望遠鏡でそれぞれ観察することができます。実際に見比べてみるのも、楽しいかもしれません。

距離：約1890光年

月

	出	没
2日 ● 満月	18:10	04:52
10日 ● 下弦	01:08	09:45
17日 ● 新月	04:05	18:07
24日 ● 上弦	10:08	01:01

天文台から月を見ることができるのは1~4日および22~30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。 距離：約38万km

木星

木星が空高く輝き、見ごろとなっています。木星は太陽系で一番大きな惑星でその直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が4個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

M51 (銀河)

銀河 (NGC5194) の渦巻の腕の先に小さな銀河 (NGC5195) を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。

月明かりがなく条件のよい夜には、銀河 (NGC5194) の渦巻や、2つの銀河が実際につながっている様子を見ることができます。 距離：約2800万光年

その他おすすめ

- M3 (球状星団)
- M44 (散開星団)
- M65 (銀河)
- M66 (銀河)
- M67 (散開星団)
- M101 (銀河)
- アルギエバ (重星)
- アルクトゥールス (恒星)
- かに座^{イオタ}星 (重星)

イベント・天文現象

4月	
4(土)	水星が西方最大離角
5(日)	清明
8(水)~19(日)	木星と春の天体観望会
19(日)	細い月と金星が接近 (夕方~宵)
	細い月とプレアデス星団が接近 (夕方~宵)
20(月)	穀雨
23(木)	4月こと座流星群が極大
24(金)	月面X (20:17)
29(水)~	昼12時より繰上開館
29(水)~	ゴールデンウィーク天体観望会

5月	
~6(水)	昼12時より繰上開館
~10(日)	ゴールデンウィーク天体観望会
4(月),5(火)	特別開館
5(火)	立夏
6(水)	みずがめ座η流星群が極大
7(木)	振替休館
11(月)~22(金)	メンテナンス休館
14(木)	水星が外合
21(木)	小満
22(金)	天王星が合

開館情報

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開館時間
14:00~22:30 (4月~9月)
13:00~21:30 (10月~3月)
休館日